

委員会等の会議録

1 会議名	令和8年度 第1回愛南町都市計画マスタープラン策定懇話会	
2 議題	(1) 計画の策定体制について (2) 都市計画の概要について (3) 都市計画マスタープランの概要について (4) アンケート調査の結果について (5) 現況分析・課題の整理について	
3 開催日時	令和8年5月7日(木) 17時00分から18時20分まで	
4 開催場所	愛南町役場 3階 大会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	白柳 洋俊、須田 泰造、岩本 隆久、河野 仁、岡原 映子、 徳川 義孝、伊藤 孝徳、馬詰 圭祐、金平 香、保村 由加里	
7 担当所属	所属名	建設課
	担当職員 (職・氏名)	課長 山本 正文 主幹 山下 裕凡 主査 小野山 裕三
8 その他の 出席職員	所属名	総務課、企画財政課、防災対策課、 建設課高速推進室、復建調査設計(株)
	出席職員 (職・氏名)	総務課長 濱 哲也 企画財政課長 山本 光伸 防災対策課長 上田 耕平 防災対策課主査 吉田 雅俊 建設課高速推進室長 岡田 恵三 建設課高速推進室専門員 吉村 克己 復建調査設計(株) 藤田 章弘、大塚 健裕、河原 慶佑、林 億
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
山下主幹	(配布資料の確認及び開会挨拶) それでは、開会にあたり、愛南町長中村維伯より御挨拶申し上げます。
中村町長	(町長挨拶)
山下主幹	(委員紹介及び議長への進行移行)
山本課長	それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。 まずは、(1)「計画策定体制」について、事務局より説明をお願いします。
小野山主査	(計画策定体制について資料説明)
山本課長	ありがとうございました。本議題について、何か御意見、御質問等はありませんでしょうか。
委員一同	(意見、質問等なし)
山本課長	それでは引き続き、(2)「都市計画の概要」について、事務局より説明をお願いします。
小野山主査	(都市計画の概要について資料説明)
山本課長	ありがとうございました。本議題について、何か御意見、御質問等はありませんでしょうか。
委員一同	(意見、質問等なし)
山本課長	それでは引き続き、(3)「都市計画マスタープランの概要」について、事務局より説明をお願いします。
小野山主査	(都市計画マスタープランの概要及び現況分析について資料説明)
山本課長	ありがとうございました。本議題について、何か御意見、御

	質問等はありませんでしょうか。
委員一同	(意見、質問等なし)
山本課長	それでは引き続き、(4)「アンケート調査の結果」及び(5)「現況分析・課題の整理」について、事務局より説明をお願いします。
小野山主査	(アンケート調査の結果及び現況分析・課題の整理について資料説明)
山本課長	<p>ありがとうございました。本議題について、御意見、御質問等はありませんでしょうか。</p> <p>特に、アンケートについては郵送で3,000通の配布を行い、回収率は41.2%であり、非常に関心が高い計画であると考えています。アンケート結果等を基に課題を整理し、今後の策定懇話会で継続的に議論していただきたい内容を提案させていただいています。</p> <p>これらを踏まえた上で、御意見、御質問等があればよろしくお願いたします。</p>
委員一同	(意見、質問等なし)
伊藤委員	<p>事前復興計画の策定は令和5年度から開始されているようですが、現在の進捗状況について教えていただけますでしょうか。</p> <p>また、津波浸水想定区域に主要施設が立地している状況がありますが、それらの施設の移転等の計画の進捗状況はどのようになっているのでしょうか。</p>
防災対策課	事前復興計画は令和5年度から策定を進めていますが、津波浸水想定区域内の主要施設について、今後どのように進めていくかについては、この都市計画マスタープランにおける土地利用の方向性がある程度定まった後、付随して事前復興計画における土地利用方針についても検討を進めていきたいと考えています。そのため、現段階で津波浸水想定区域内の施設に関する具体的な方針は定まっていない状況です。
伊藤委員	事前復興計画の策定に当たって、町の主要機能を山間部等に

	<p>移転するといった議論がなされていないということでしょうか。</p>
<p>防災対策課</p>	<p>都市計画マスタープランにおいて、都市計画の立場から町全体の土地利用の方針が決まりましたら、付随して事前復興計画における土地利用方針を決定するという流れになります。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>事前復興計画と都市計画マスタープラン、どちらかが決まらないと進められないように感じています。</p>
<p>復建調査設計</p>	<p>事前復興計画は、復興計画の元となる基礎的な計画ということで、どういうふうに復興を進めていくかといった復興ビジョンや方針の検討を進めている段階であり、今年度に公表する予定です。</p> <p>土地利用の今後の大きな考え方についても、防災対策課と検討を進めていますが、事前復興「まちづくり」と今後の都市計画としての「まちづくり」の考え方については、整合を図りながら進めていく必要があります。</p> <p>事前復興計画についても検討を進めていますが、都市計画マスタープラン策定懇話会においても、今年度から来年度にかけて具体化を図っていきたいと考えています。</p>
<p>白柳委員</p>	<p>都市計画マスタープランは、町長のお話にありましたように、事前復興計画と連携していくというのが一つのポイントであると思います。様々な連携の形があると思いますが、都市計画マスタープランは、空間的な観点から、どこの場所にどのようなものを配置していくのかを示すことに特化した計画だと認識しています。そのため、現在、町の中でどのような動きがあり、今後どのような動きが想定されているのかについて、“どこに”という情報を具体的に示しながら検討を進めていく方が、連携をしやすいのではないかと感じています。現在進められている事前復興計画の検討状況についても、開示可能な範囲で本会議でも示していただきながら議論を進めていく方が、参加者の理解もより深まるのではないかと感じました。</p> <p>また、実行可能性という点では、都市計画マスタープランはプラモデルでいうと、外箱に描かれた完成図のようなものだと考えています。プラモデルの中には設計図や具体的なパーツが含まれており、それらを組立てるための道具なども必要になり</p>

<p>山本課長</p>	<p>ますが、実際に完成させようとする、そうした要素が非常に大事になると思います。都市計画マスタープランの策定後、今後どのような動きを進めていくかについて、現時点でのお考えがあれば教えていただけますでしょうか。</p> <p>都市計画マスタープランは、令和7年度から策定を進めており、現在はアンケート調査が終了して、その集計が終わった段階です。令和8年度から、アンケート結果を踏まえた課題等を整理し、全体構想や地域別構想の検討を進めていきたいと考えています。現時点では本格的な検討を開始した段階であり、具体的な内容については今後更に検討を進めてまいります。</p>
<p>白柳委員</p>	<p>ほかの市町の都市計画マスタープランにおいても、丸や線で示された土地利用構想はよくあるパターンであり、そのとおりだと感じる一方で、実際にどのように進めていくのかという部分について、十分に連携が取れていないケースも見受けられるように思います。</p> <p>そのため、プラモデルでいうと道具にあたる立地適正化計画や都市再生整備計画など、具体的なものを見据えながら都市計画マスタープランを策定していくことが大事だと感じています。</p>
<p>山本課長</p>	<p>御指摘のとおり、立地適正化計画なども見据えた、より良い計画作りを皆様とともに進めていければと考えています。</p>
<p>馬詰委員</p>	<p>人口減少や出生率の低下については非常に心配しているところであり、私自身、愛南町出身でこれまでずっと愛南町で育ち外に出た経験がないため、そうした点には弱い面もありますが、一方で愛南町の変化については肌で感じている一人でもあります。</p> <p>一つ気になる点が、アンケートの対象者については、愛南町で高校生まで育ち、その後町外の大学へ進学する方も多いと思いますが、そういった方も含まれているのでしょうか。</p>
<p>山本課長</p>	<p>令和7年1月1日時点で愛南町に住所がある方を対象に郵送していますが、町外に進学された大学生の手元に実際に届いたかどうかは定かではありません。</p> <p>無作為で3,000人へ郵送を行っているほか、別途御協力をい</p>

	<p>ただいた南宇和高校にもアンケートの案内を行いました。年代の把握は行っていますが、町外に進学した大学生であるかどうかまでは把握できておりません。</p>
<p>馬詰委員</p>	<p>なぜこのようなことをお聞きしたかという、愛南町に住んでいる若い方もお年寄りの方も町を良くしたいという想いは同じである一方で、町外に出て、帰りたいけど帰れない理由もあるかと思えます。そのため、町外に出た方であれば分からない御意見についても、参考にすべきではないかと思いました。</p>
<p>山本課長</p>	<p>御指摘の点については、今後考えていかなければならないと感じています。</p>
<p>岩本委員</p>	<p>少子高齢化が進展するなかで、資料の中に学校や病院が現状どうなっているのか、今後どのようにしていくのかについては「まちづくり」の視点として必要だと考えています。</p> <p>都市計画であれば、国や県もコンパクト・プラス・ネットワークという考え方を打ち出しており、中心拠点や生活拠点に誘導していくという方向性であるかと思えます。それに合わせて交通ネットワークが必要だと思いますが、愛南町では長距離バスとタクシーといった公共交通については、例えば重複路線の見直しなども含め、これらをいかに持続的に維持していくかという点にも焦点を当てていく必要があると感じました。</p>
<p>山本課長</p>	<p>コンパクト・プラス・ネットワークという考え方は、都市計画マスタープランに関連してくる部分になりますので、これらを踏まえた上で計画の策定を進めてまいりたいと考えています。</p>
<p>保村委員</p>	<p>ボランティア連絡会は、障がいのある方など支援が必要な方々のグループですが、都市計画や防災などの分野において、そうした方々の意見を吸い上げられる機会が少ないと感じています。愛南町で共に暮らす仲間として、安心して生活できる環境や情報保障、社会参加、就労の場などについて、支援する立場からは見えにくく、本人でなければ分からないことも多くあります。実際、こちらからお話を伺って初めて御意見をいただけることも多いため、こうした機会に意見を吸い上げる場を設けていただければよいと感じています。</p>

山本課長	<p>そういった方々の意見収集についても、検討していければと考えています。その際には御協力いただくことになるかもしれませんが、きたんのない御意見を収集できればと考えています。</p>
白柳委員	<p>都市計画マスタープランということなので、スケールが違う議論であるかもしれないですが、民間連携に関する意見の吸い上げについてはどのようにお考えでしょうか。</p>
復建調査設計	<p>本懇話会には、旅客運送業組合や商工会、建設業協会の方についても委員として御参加いただいております。民間事業者の状況についても把握していければと考えています。</p> <p>また、今後、住民や関係機関の皆様を対象とした意見交換会を開催する予定であり、幅広い関係者の御意見を伺いながら、計画の策定を進めてまいりたいと考えています。</p>
白柳委員	<p>都市計画マスタープランでは、道路や公共施設といった都市施設に偏りがちですが、いかに民間と連携して1+1を2ではなく2.5のように高めていかなければ、今後の「まちづくり」においては、難しくなってくると思いますので、民間連携について戦略的に計画に反映した方が望ましいと考えています。</p> <p>都市計画マスタープランのスケールからは少し外れてきますが、民間ボランティアの方々がどのような場所で活動し、どのような場所を大切にされているのか、また民間の若い方々がチャレンジショップのような取組をどのような場所で展開されているのかといった点は、今後どのような場所を重視していくべきかを考える上での一つの手がかりになると考えています。</p> <p>こうした活動は行政との連携によって更に可能性が広がるものでもあるため、細かなスケールでの視点も重要であり、本懇話会においても議論していければと考えています。</p>
復建調査設計	<p>民間連携などの細かな要素についても、しっかりと把握し検討していく必要があると考えています。ただし、都市計画マスタープランの中で全てを網羅的に記載できるかという点については、調整事項も多く生じることから限界もあります。そのため、都市計画マスタープランを踏まえた上で、次の段階として個別計画へ適切に落とし込んでいけるような構成とすることが重要であり、そうした内容に漏れがないよう整理していければ</p>

<p>山本課長</p>	<p>と考えています。</p> <p>そのほか、御意見、御質問等ないようでしたら、以上で本日の議題、全て終了となります。本日は貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。次回の懇話会に向けて、御意見を反映していければと考えています。</p>
<p>山下主幹</p>	<p>最後に事務局から、今後の予定について説明いたします。</p> <p>まず、愛南町都市計画マスタープランにつきましては、本日の第1回策定懇話会を皮切りに、令和9年度末の計画公表を目指し、3か年にわたり策定作業を進めてまいります。</p> <p>令和7年度には、住民アンケート調査や各種現況調査を実施し、「まちづくり」の課題を整理いたしました。今年度、令和8年度には、地域別の意見交換会を開催するとともに、第2回策定懇話会を9月頃に開催し、将来像や全体構想について議論いただく予定です。その後、令和9年度にかけてパブリックコメントを経て、計画を公表する流れとなっています。なお、策定懇話会は、パブリックコメントまでの間に計4回から5回程度の開催を予定しています。</p> <p>以上をもちまして、令和8年度第1回愛南町都市計画マスタープラン策定懇話会を終了いたします。今後とも、本計画の策定に御尽力賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>